

# 声

業界の



● 山梨県生コンクリート協同組合

営業課長 矢崎 洋文氏

## 業界の現況は？

当業界の景況は、昨年度に比べると改善傾向にあります。しかし、改善傾向とは言え、ここ数年の落ち込みが非常に激しかったため、まだまだ本当の意味での改善には至っていない状況にあると思われます。ただ、公共工事に関しましては、今年度当初は仕事量が減少するとの予想でしたが、それほど大きな落ち込みには至っておりません。

組合員数に関しましては、ここ数年の景気悪化で大きく減少しました。廃業、合併等が相次ぎ、また当組合の主力事業である生コンクリートの共同販売事業の低下が主な要因と考えられます。共同販売事業においては、生コンクリートの適正価格設定が大変重要となっており、それには組合員数増加と組織率向上がポイントとなっております。現在は、それらの改善が大きな課題となっております。

## 今後の展開は？

今後は、組合員数の増加、組織率の向上が主な目標となっております。先程も述べたように、私共の主力事業である生コンクリートの共同販売事業における適正価格の設定では、組合員数の増加、組織率が大変重要となっております。組織率が高まれば、生コンクリートの価格も安定し、それに伴い組合員の経営安定にも繋がります。当組合としては、組合員の経営向上に寄与することを目的としておりますので、その目的を達成するためにも、組合員数の増加、組織率の向上に力を入れていきたいと思っております。

それらに加え、今後は更なる仕事量の確保にも力を注いでいきたいと思っております。現在、山梨県内においては、「リニア中央新幹線」、「中部横断道」、「甲府駅北口の再開発事業」等の建設工事の施行に伴い、生コンクリートの需要は増加することが見込まれます。それらの受注確保に向け、今後も全力で取り組んでいき、組合員の経営向上に寄与していきたいと考えております。



組合事務所がある  
山梨県コンクリート技術センター